

## 2024\_0107「築堤をゆく八高線（動画）」日々の理科 3440号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

「八高線（はちこうせん）」は、東京都八王子駅と群馬県高崎駅（線籍上は倉賀野駅）を結ぶローカル線です。八王子駅から高麗川駅までは電化されて通勤型の電車が走っていますが、高麗川駅から北側は非電化です。埼玉県内では唯一、現在でも気動車（ディーゼル列車）が走る「貴重な」線区です。

その「非電化区間」でも重要な駅が「小川町駅」です。「小川駅」でないのは、もともとは私鉄の東武東上線の「小川町駅」が先に開業し、八高線のほうがあとに開通したので、その駅名を踏襲しているのです。JR 線で「町」のつく駅名は非常に珍しい例です。現在でも小川町駅は東武鉄道と JR が共用しています。

小川町駅を高麗川方面に出発した八高線の気動車は、すぐにエンジン一杯の力行に入り、築堤を上ります。線路を横切る国道 254 号線を跨ぐ為です。国道 254 号線は、文京区の「春日通り」の延長で、川越・小川町・藤岡・下仁田などを通り、終点は何と長野県松本市という長大な国道です。1～3両編成の高性能の気動車は、急勾配の築堤をスイスイ上り、国道を跨いで、最後にゴーと音をたてて「槻川（つきかわ）」を渡ります。その一部始終が、私の両親が住むマンションの窓から見えるのです。1時間に1～2回、まるで鉄道模型のジオラマのような眺めで、とても楽しいです。

（2024年1月上旬／埼玉県比企郡小川町）

